

年譜

- 1950年(S25) 北海道滝川市に生れる。
- 1953年(S28) 千歳市転居。
- 1969年(S44) 単身上京し、千代田デザイン学校グラフィック科に入学。後に退学。
- 1973年(S48) 結婚後、豊島区東池袋に転居。武蔵野美術短期大学通信教育課程の油絵科を受講。
- 1974年(S49) 個展(池袋・東電サービスセンターギャラリー)
- 1975年(S50) 長女出産。東京葛飾区小菅に転居。
- 1980年(S55) 武蔵野美術短期大学通信教育課程を修了。幼児対象の絵画教室を開く。
- 1986年(S61) 第42回現展に初出品。松本市に転居。
- 1988年(S63) 東京葛飾区小菅に転居。
- 1990年(H2) 個展(文京区小石川の茶房・子供の本の専門店ピッピ91、92年)
- 1991年(H3) 第47回現展出品、第62回展まで連続出品。
- 1992年(H4) 第14回北海道ロビー展(ギャラリー絵夢)連続20回展迄出品。現展100人展出品、同新人選抜展に出品。
- 1993年(H5) 現展気鋭画家50号展出品。第49回現展にて会員に推挙される。個展(東京本郷・ギャラリー愚伶94、96、98、01、12年)
- 1994年(H6) 第50回現展『時・・・大地』会員賞受賞。
- 1995年(H7) ミューズ秋の美術展(所沢市民文化センター)出品。
- 1996年(H8) 鳥井孝嗣、古田恵美子二人展(東京本郷・ギャラリー愚伶)。第52回現展・安田火災美術財団奨励賞受賞。埼玉県越谷市転居。
- 1997年(H9) 第16回安田火災美術財団奨励賞展(東郷青児美術館)出品、新作秀作賞受賞。個展(東京・中野坂上 Gallery JINE)。個展(埼玉・南越谷Gallery恵風98、00、03、05、10年)
- 1998年(H10) 個展(東京神楽坂・セッションハウス・ガーデン98、99、01、03、08年)。個展(六本木ギャラリー青雲)
- 1999年(H11) 個展(銀座・LaMer)
- 2000年(H12) 個展(銀座・Galleryしらみず美術)
- 2001年(H13) 個展(越谷市・こしがや絵本館02、04、06、10年)
- 2002年(H14) 個展(銀座・Gallery汲美にて03年(京橋)06年(日本橋) 個展(六本木のGallery青雲)
- 2003年(H15) 個展(銀座・Galleryムサシ) 個展(長野市・ながの現代美術館03、04年)
- 2004年(H16) 個展(銀座・K'sGallery) 第60回現展記念展受賞。個展(東京・お茶の水のギャラリーf分の1)
- 2005年(H17) 個展(越谷・ギャラリー恵風) 個展(東京・ギャラリーテムズ)
- 2006年(H18) 個展(安曇野市・ギャラリー留歩) 個展(銀座・Gallery Bar Kajima)
- 2008年(H20) 個展(銀座・ギャラリーゴトウ11、12年)
- 2009年(H21) 個展(東京中野・ギャラリーKANI)。個展(銀座・Galleryしらみず美術) 個展。(東松山市・ギャラリー亜露麻)。画集刊行記念展(東京・京橋ギャラリーび〜た)開催。銀座高輪画廊「新世紀の顔・貌・カオ」30人の自画像展」出品。個展(北海道・千歳市民ギャラリー)
- 2010年(H22) 「還りたい風景展」(新潟絵屋)出品。個展(神戸市・ギャラリー島田) 神戸市のギャラリー島田「一石を投ずる展」出品。
- 2011年(H23) 置戸ばっば絵画館回廊記念「選ばれた寄贈作品展」(北海道置戸町)出品。
- 2012年(H24)

### 2014年展覧会スケジュール

変更となる場合もございます。

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
大展示室	荒井茂雄展 4/12~6/15		横井弘三展 6/21~8/31		私の愛する一点展 9/6~10/26		堀内康司展 11/1~1/18		館内整備のため休館 1/20 2/13		梅野コレクション展 2/14~3/29	
ふれあい館	古田恵美子展 4/12~6/15				浅野弥衛展 9/6~10/26		信州ゆかりの作家たち 11/1~1/18		未定 2/14~3/12		みまき絵画会	

### 2014年イベントスケジュール

詳細はお問い合わせください  
変更となる場合もございます。

- 5/18(日) 13:30~ 古田恵美子展ギャラリートーク
- 6/22(日) 14:00~ 横井弘三展ギャラリートーク
- 7/26(日) 木雨忌
- 8/23(土) スケッチ大会
- 10/11(土)~12(日) 火のアートフェスティバル

### 施設情報、開館案内

とうみし

東御市梅野記念絵画館 <http://www.umenokinen.com/>

〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1

TEL0268-61-6161、FAX0268-61-6162、umenokinen@ueda.ne.jp

開館時間 午前9時~午後5時 (16:30迄にご入館ください)

入館料 800円(高校生以上) 15名以上団体700円  
身障者割引、学校利用減免、減額制度もあります。

休館日 4月14、21、28日 5月7、12、19、26日 6月2、9日

### アクセス

**お車** 練馬ICから2.5時間

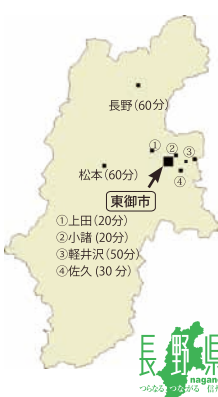
**鉄道** 東京から最速2時間  
しなの鉄道「滋野」下車、タクシー10分

◆関東、北陸方面から  
上信越道東部湯の丸インターから15分

◆関東、北陸方面から  
北陸新幹線「上田」で、しなの鉄道乗換、滋野下車。

◆中部、関西方面から  
長野道岡谷インターから新和田トンネル、R142号経由で約1時間

◆中部、関西方面から  
特急しなの号利用「篠ノ井」で、しなの鉄道乗換。滋野下車



地域の情報をラジオで発信!  
エフエムとうみ 78.5MHz

リクエスト、メッセージは  
m@fmont785.jp



Doko e...

何処へ

# 古田恵美子 展

2014年4月12日(土)~6月15日(日)

5月18日(日)13時半~

作家を囲んでギャラリー・トーク

同時開催：荒井茂雄展





# 遠く呼ぶ声

東御市梅野記念絵画館 館長 佐藤 修

風すさび、寂寥ただよう風景の中を黙々と歩を進めるのは囚われ人か、年若き者たちか、はたまた画家自身か。底流に流れる故郷北海道の大地の匂い。深い孤独感と哀しい母性。鋭く刻まれた線は、向かい風に飛ばされまいと体を斜めにして生きてきた画家の格闘の軌跡。

漂泊者のように棲家も転々と変わった。昭和61年頃から2年ばかりは松本で暮らした。36、7歳の頃である。気軽に受診した市民対象のガン検診で「疑いあり」とされ、精密検査を受けた。結果が出るまでの一週間、当然のことではあるが“死”を思い、どう生きたかを自問した。結果は乳ガンではなく乳腺症だったが。

《その一週間、私は何をしてきただろうと真剣に考えた…まだ絵を描き切っていない。描き切ってから死にたいと切実に思った。》

その前に流産もしている。小学校1年の娘に弟ができていたはずを、自分の軽はずみな過ごし方で小さな命を育てられなかった。そのことの悔い、それが少年を描くきっかけとなったという。

年譜を見ると、ガン騒ぎのあと数年の助走期間を置いたのち、“猛然と”と言いたくなるほどの勢いで作品を発表し始めている。個展、グループ展、規模の大小、所の如何を問わず、描くほどに勢いづき、作品が生み出された。命には限りがあり終止符は突然来るかも知れぬことを、身をもって実感したことが画家を猛進させたのであろう。

自らをきつく律し、修羅の道を往くがごとく髪振り乱して描き始めた己れの姿を、自身で「何処へ」と形容した。腹をくった画家の真からの呟きであろう。ひたすら描くのみ、自分がどうなっていくのか、絵はどう変わっていくのか、先のことは絵に訊いてくれ、とでも言わんばかりである。

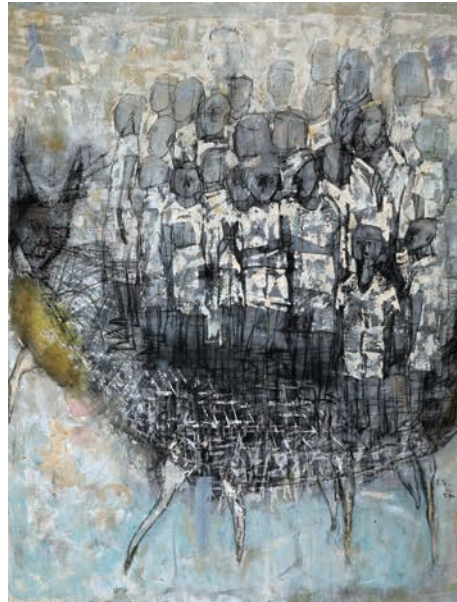
何処へ。行く手の霧は晴れることなく未だ茫漠としている。濃くただよう霧の向こうから微かにするは幼き子らの遠い声か。それが安息の地への道標。羅針盤は握りしめた絵筆ひとつである。



何処へ



tomorrow - 希望一



DOKOe...漂流



children - 現代一



卓



卓...



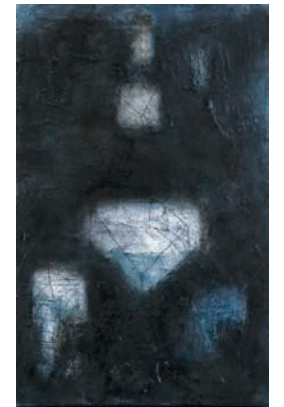
DOKOe...



DOKOe...旅



DOKOe...風二吹かれて



DOKOe...